

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	伊万里市立大坪小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導については、学習状況調査結果などから判断して一定の成果を収めることができた。今後は、タブレットPCを活用した授業を行う中で、児童の思考力、表現力を高めるようにしたい。 新型コロナウイルス感染予防による学習活動の制約から、児童が達成感を得る場面が少なかった。次年度は達成感を得られるような活動を工夫したい。 いじめ防止については、普段の学校生活での指導が大切になることから、「伊万里っこしぐさ」、「命の教育指導資料」などを活用し、思いやりの気持ちを育てていきたい。
2 学校教育目標	<p>「互いに認め合い、支え合う学校にしよう ～ 自己肯定感を高める教育を通して～」</p> <p>◎めざす教師像 「深い教育愛に満ち、確かな指導力のある教師 ～ 支え合い、高め合う集団づくり ～ ※子ども一人一人の特性に応じて…」</p> <p>◎めざす学校像 「いきいき学び 伸び合う学校 ～ 当り前の事を、当り前に ～ ※自分の将来に希望を持って…」</p>
3 本年度の重点目標	<p>①授業づくりのスタンダード「学習指導要領」を基にした授業スタイルについて研修を行い、授業の自立として学校全体での共通取組を検討する。読解力、教科力の向上を図る実践的な自立で構築することにより、タブレットPCを活用した学習の実を図る。</p> <p>②児童同士が良さを互いに自覚し合える学級集団づくりを行い、児童の学級への所属意識を高める。併せて、教育相談機能の充実により、児童、保護者の学校教育への不安感の払拭を図る。</p> <p>③新型コロナウイルス感染予防のため、衛生週間の定着を図るとともに、学習形態の工夫、指導内容の重点化、学校行事の見直しを適宜行い、教育課程履修に遅滞のないように努める。</p>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1) 共通評価項目											
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言		
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマインプランの成果指標を達成した教師90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 全教科で自分の考えを書く活動を取り入れる。国語科・算数科において「思考力テスト」を継続する。国語科では「条件に合わせて書くこと」等の書き方について、算数科では「図表・式・言葉に関連づけた説明」の書き方について、指導する。 タブレットPCを活用した授業実践を、全職員で共有できる場を設ける。 								<ul style="list-style-type: none"> 学力向上対策 コーディネーター 研究主任 副主任
	○授業と家庭学習とのつながり	○毎日の家庭学習時間を確保させる。 ○「家勉」を推進する。 ○家庭学習調査を実施し、安定して家庭学習に取り組む児童を80%以上にさせる。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習調査の結果を個別指導に生かす。また、保護者と連携し、安定して家庭学習ができる環境をつくっていく。 「家勉」を奨励し、自主学習の習慣を定着させる。 								<ul style="list-style-type: none"> 学力向上対策 コーディネーター 研究主任 副主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳の授業の振り返りにおいて、肯定的な感想をもった児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 「いのちの教育指導資料」や「伊万里っ子しぐさ」、「童謡歌集」を生かした授業を全学級で実践し、ボランティア活動や心を育む「家読」を充実させる。 全校で同じテーマの人権教室を各学年ごとに実施する。 								<ul style="list-style-type: none"> 道徳推進教員
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○アンケート等の情報収集を毎月実施 ○いじめ防止等(事業対処等)について早期に組織的対応ができていると回答した教員80%以上。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月「心のアンケート」を実施し、早期発見に努める。 保護者、担任、生徒指導主任、教育相談担当、級外などの連携を密にし、組織としての支援を充実させる。 学校いじめ対策委員会において、支援の具体的方法について話し合う。 								<ul style="list-style-type: none"> 管理職 人権・同和 教育担当 教育相談
	◎志を高める教育	◎夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進。		<ul style="list-style-type: none"> 学校行事(体育大会や修学旅行等)や対外行事(相撲大会や陸上運動大会等)、発表会(伊万里秋祭りや公民館祭り等)などを通じて、個人で目標をもたせ、それをバックアップすることで成功体験を積ませる。 							
●健康・体づくり	①「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする ○廊下走りを0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> 交通教室・職員による交通指導の実施。 廊下歩行についての指導の徹底。 通学路については、保護者や地域の方にも危険箇所を確認をお願いし、危険箇所マップの改訂を行う。 								<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導主任
	○衛生習慣の定着	○新型コロナウイルス感染予防策を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> 適宜手洗いやうがいを行えるように習慣化を図る。 マスク着用、ソーシャルディスタンスの徹底を図る。 								<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> 定時退勤日、学校閉庁日を設定する。 主任業務の分散化や複数担当化を図り、業務の平準化を推進する。 育友会担当業務を交代でできるよう複数担当化を図る。 提出書類等を整理・統合し、簡素化を図る。 								<ul style="list-style-type: none"> 管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目											
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	学校関係者評価 意見や提言		
○教育相談の充実	○教育相談に係る組織の活性化(含他機関との連携)及び、支援会議の充実による具体的な支援策の構築	○保護者面談の他、医師、カウンセラー、スクールソーシャルワーカー、保健師、民生委員等関係機関との連携に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談に係る担当者の連携を図り、支援会議の円滑な運営を図る。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部機関の効果的な活用など、教育相談機能の充実を図る。 								<ul style="list-style-type: none"> 教育相談担当
○特別支援教育の推進	○児童の実態に即した具体的な支援の内容・方法の策定	○児童の実態に即した具体的な支援を行い、よりよい学校生活への適応を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体の支援体制を整備する。 児童の実態を把握し、ケース会議等で対応について協議・共通理解をする。 校内支援委員会の定例開催により、児童の現状を確認し、支援の方法を考え実践する。 								<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育 コーディネーター
○「ふるさと学習」の充実	○地域の良さを体感できる学習の充実	○市内(町内)に存在する社会教育施設や優れた教育資源を活用し、ふるさと伊万里(大坪町)を誇りに思う児童の割合を前年度より高める。	<ul style="list-style-type: none"> 図書館を使った「調べる学習コンクール」へ積極的に参加する。 地域の祭りや伝統、地域の偉人からの学び、鼓笛隊などの活動を充実させる。 地域への関心を高める、魅力ある事業を企画する。 								<ul style="list-style-type: none"> 学年主任 教務主任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
--------------------	---